

# まなび、や

第59号

11月10日

発行

那珂川町立福岡女子商業高等学校 企画広報課編集

定期考査が近づいてきました。みなさん、準備の方はいかがですか。学習計画を立てて取り組む人、まあいいからと、やるべきことをつい先に延ばしがちな人、いろいろいると思います。しかし、みなさんなりに定期考査に向けての取り組みを開始しましょう。前向きに取り組む姿勢こそが何よりも大切なのですよ。さて、今回の話題は体育祭から…。

## 心から感謝

「またある」って思っていた体育祭練習も「もうすぐ本番だ!」って思っていた体育祭もあっという間に終わってしまいました。初めての練習では声も小さくて本当に不安でした。でも3年生のリーダーやブロック長が頑張っている姿や毎日放課後遅くまで部活動生や先生方が会場を作ってくれている姿を見て「今年の体育祭を絶対に成功させよう」という人がたくさんいるということが私の『頑張れる力』になりました。私は体育祭のスローガンに「皆で協力をして努力をすれば必ず成功することができる」という意味を持つ『雲外蒼天』の言葉を選びました。本番が近づくにつれて皆の意志が高まり、思いが一つになっていくのを実感することができました。本番の入場行進は練習の時とは比べ物にならないくらい綺麗で泣きそうになりました。今まで体育祭や卒業式で泣いたことがなかった私は、人生最後の体育祭で大泣きするほどの素敵な体育祭を皆から教えてもらいました。本当に最高の体育祭を作り上げることができたことを心から感謝しています。

(体育委員長 3年 小川 夏未)

## 一人ひとりの姿に感動

第33回体育祭はテーマである『雲外蒼天』まさにこの通りだったと思います。去年よりも短い練習時間の中でうまくいくこともありましたが、そうでないこともたくさんありました。うまくいかないことが続くと本番大丈夫かなと不安になることもありました。しかし、たくさんの困難にぶつかりながら、迎えた本番当日では、練習の時よりも素晴らしい入場行進とラジ体操で私は開会式で泣いてしまいそうになりました。一人ひとりがブロック優勝を目指して一生懸命に競技をしている姿に感動する事ができたのは、体育副委員長という立場で体育祭実行委員を務め、体育祭練習と体育祭を成り立たせるための準備に関わることができたからだと思います。

体育祭を通して協力すること、責任を持つて仕事をする事の大切さ、みんなを知る事の難しさを学ぶことができたので、これからもこの経験を活かして頑張りたいです。

(体育副委員長 3年 渡邊千菜津)

## 本当にありがとう

一学期が終わる頃から体育祭の準備が始まりました。『雲外蒼天』というスローガンのもと、体育祭まで走り続けてきました。三年生は就職活動や進学準備などとも重なり、両立するのが大変だったと思います。体育祭の練習が始まると、最後の体育祭だから一生懸命になっている三年生と一・二年生との温度差を感じ、「大丈夫なのかなぁ」と不安がいっぱいでした。行進練習があまりにもひどいときは大声をあげて怒鳴ったり、個人的に話をした人もいました。体育祭当日は気持ちが伝わったのか素晴らしい行進でとても感動しました。準備してきた時間が嘘のように本番は時間が過ぎていき、あっという間に第33回体育祭は閉会しました。今まで頑張ったブロック長、リーダー、体育委員長、副委員長、本当にお疲れ様でした。今まで協力してくれたみなさん、本当にありがとうございました。たくさんの人への感謝の気持ちを忘れることなく、今後を過ごしていきたいです。

(生徒会長 3年 齊藤裕美子)



体育祭は私たちも感動しました。閉会式の小川体育委員長の姿には思わず涙が出たほどです。ありがとうございました。皆さん全員が、目標に向けて一生懸命に取り組むことができた。1・2年生の中からもきっとリーダーシップを発揮してくれた人がいると思います。次は君たちの出番。第3・4回体育祭に期待します。

さて、皆さんは将来の夢というものをどのように描いているでしょうか。次に3年生の中で「進路決定」を実現した人からのメッセージを載せていきます。

## 自分を知る必要あり

夏休みが始まる頃から就職先について真剣に考え始めましたが、希望する企業も決まり、その対策をして、たくさんの先生方に面接練習をしてもらうため、夏休みもほぼ毎日学校に行きました。面接練習をより実践的にするためには、早めに進路について考え、長所や短所など自分を知る必要があると思います。そうすれば、後で気持ちも軽くなり、試験を受けるときに不安が少しでも解消されると思います。1・2年生の皆さん、進路実現に向かって頑張ってください。

(3年 江藤 早紀)

## 元気と笑顔！

私は夏休み学校に出校して何度も履歴書を書き直したり、先生方に面接指導していただき悔しい思いをして泣いたこともありました。しかし就職活動を通して、自分の短所を見直すことができ、自分自身を成長させることができたと思います。面接で大切なことは元気と笑顔です！！1・2年生の皆さんはまだ時間があるので、面接で自分をアピールできるように、残りの高校生活で常に感謝の気持ちを忘れずに、一日一日を大切に過ごしてください。

(3年 岩瀬 綾)



いよいよ、皆さんが楽しみにしている女子商マルシェが近づいてきました。各クラスのメンバーそれぞれの協力をなくしては絶対に成り立ちません。じっくりと調査や研究をした上で未来を担う若者らしく、前向きに取り組んでほしいと思います。

第3回になりますが、すべて経験している3年生の店長の中から4人の店長にアドバイスも含め、現在の取り組みの様子を聞いています。1・2年生は特によく読んで、自分のクラスの取り組みの参考にしよう。

## 商品知識を身につける

私の担当の店舗はナチュラルドライファーム(ドライフルーツ)です。私たち3年生は1・2年生のお手本となるように今までのマルシェで学んだことを生かして頑張ります。マルシェまで残り少ないので、お客様に商品のことを聞かれてもきちんと対応できるように一人ひとりが商品知識をしっかりと身に付けていきたいです。そして第2回女子商マルシェよりも第3回の方がよかったと言ってもらえるようにしたいです。

(3年3組 店長 樋口 里奈)

## 実践力を身につける

私の担当店舗は博多フーズ(焼きそば・お好み焼き)です。食べ物を扱うお店なので、販売員の衛生面にはとても気を使っています。現在はインターンシップに全員参加し、マルシェ当日で困らないように実践力を身に付けています。私たち3年生はマルシェがクラス単位で動く最後の行事です。今まで習ってきたことを活かし、お客様に最高のサービスを提供して、自分

たちにとってよい思い出になるようにマルシェを楽しみたいと思います。

(3年3組 店長 原山 望)

## 目玉商品を全面的に

私たちが担当している海老平(水産加工品)では、さきイカや海苔の佃煮、冷凍エビを販売する予定です。この中でも特大の冷凍エビを目玉商品にして全面的に押し出し、このエビを使った料理法なども提案していくつもりです。第1回第2回では共にお客様から「店員の商品知識が足りない」とのご指摘が多かったようなので、今回は商品に関する小テストなどを実施して、お客様全員にご満足していただけるような店舗作りを目指します。

(3年4組 店長 佐藤 静佳)

私たちが担当している店舗は、ひぐち産業(うどん・そば)です。主にうどんやそばを販売しようと思っています。現在はインターンシップに行き、スープの作り方などを学んでいます。インターンシップの経験を最大限にお客様に満足していただけるうどんを頑張りたいと思います。私たち3年生にとっては今年が最後の女子商マルシェになるので大成功させるために皆で頑張りたいです。

(3年4組 店長 原 亜樹奈)



今年も素晴らしく楽しいマルシェにしましょう。